

杏林大学大学院保健学研究科
保健学専攻
博士後期課程入学試験
社会人特別選抜 専門試験

令和 8 年 2 月 7 日 実施

試験時間 午後1時 ～ 2時

注意事項

1. 課題は 1 題です。字数の制限はありません。
2. 問題用紙は持ち出し禁止です。

【課題】

以下は、中枢神経疾患患者における基本動作について、特に「起立動作」における「運動学的特徴」、「運動療法」、「運動療法の効果判定の検討」に関する問題です。

以下の 1～3 の問題文をよく読み、それぞれについて記述してください。

1. 中枢神経疾患における「起立動作」の運動学的特徴について、①力学的要因と②神経科学的メカニズムの視点を踏まえ解答欄に記述してください。
2. 中枢神経疾患における「起立動作」の問題を改善する目的の運動療法について、その運動学的背景を踏まえて 2 種類以上を解答欄に記述してください。
3. 上記 1-2 を踏まえ、運動療法の効果を判定するための指標として、機器による測定が可能な計測項目を具体的に示し、解答欄に記述してください（複数の項目を挙げて構いません）。

杏林大学大学院保健学研究科
保健学専攻
博士後期課程入学試験
社会人特別選抜 専門試験

令和 8 年 2 月 7 日 実施

試験時間 午後1時 ～ 2時

注意事項

1. 課題は 1 題です。字数の制限はありません。
2. 問題用紙は持ち出し禁止です。

【課題】

核医学治療におけるセラノスティクスを前提に、治療後 SPECT/CT の定量から患者別ドシメトリへ至る流れを、臨床実装できるレベルで簡潔に述べてください。

さらに、今後のデバイス開発（検出器、コリメータ、各種補正、画像再構成技術など）により、ドシメトリ精度がどのように向上し得るか、期待される方向性を述べてください。